

## 4. 成果指標

### (1) 成果指標の設定

住生活基本計画の目標実現に向けた基本方針について、その達成状況を市民・住宅関連事業者、行政等が評価できるよう成果指標を次のように定めます。

基本目標	基本方針	成果指標
安全に安心して生活できる 住まい・まちづくり	1) 災害に強いまちづくり・住まいづくり	①土砂災害ハザードマップの配布率 ②LED型防犯灯の補助件数 ③市内住宅の耐震化率 ④リフォーム実施率
	2) 安全に安心して快適に生活できる地域基盤づくり	
	3) 安心して住める良質な住宅ストックの形成	
人にやさしく快適に住める 住まい・まちづくり	1) 高齢者・障がい者等が暮らしやすい 住まい・まちづくり	⑤持ち家住宅のバリアフリー化率 ⑥子育て世帯における誘導居住水準達成率 ⑦八代市営住宅長寿命化計画による住宅の改善棟数
	2) 子育て世代が暮らしやすい 住まい・まちづくり	
	3) 市営住宅の適切な運営と民間住宅の活用	
八代らしい魅力を活かした 住まい・まちづくり	1) 八代産材を活かした魅力ある住宅づくり	⑧八代産材利用促進事業の実績件数 ⑨住宅用太陽光発電システムの普及
	2) 自然を活かし環境にやさしい住宅づくり	
コンパクトシティの実現および 地域活力の維持・向上を図る 住まい・まちづくり	1) 中心市街地の魅力向上を図る 取り組みの推進	⑩街なか居住人口 ⑪空き家バンクの設置
	2) 地域定住に資する 住まい・住環境づくり	
	3) 持ち家需要に対応した適切な支援	
地域主体の多様なパートナーシップによる 住まい・まちづくり	1) 住宅供給・住替え等に関する効果的な情報提供と相談体制の確立	⑫地域協議会の設立数
	2) 自立性の高い地域コミュニティの構築	

## (2) 成果指標の目標年次について

成果指標の目標年次は、次期計画策定時に達成状況を確認することを考慮して、最終年（平成34年度）に確認できる「平成32年度」とします。（国及び県計画の目標年次との整合を図るためでもあります。）

## (3) 成果指標の内容

### 基本目標1：安全に安心して生活できる住まい・まちづくり

#### ■成果指標①：土砂災害ハザードマップの配布率

災害に強いまちづくりの状況を示す指標として、「土砂災害ハザードマップの配布率（%）」を設定します。

項目	実績値	中間値	目標値
土砂災害ハザードマップの配布率 (%)	平成23年度 -	平成28年度 90%	平成32年度 100%

根拠資料：防災安全課

- 定義：市内の土砂災害警戒区域及びその周辺に居住する世帯に占める土砂災害ハザードマップを配布した世帯の割合
- 目標値：目標年（平成32年度）には全世帯へ配布することを目標に設定
- 検証方法：目標年度末の状況を関係部署確認により検証

#### ■成果指標②：LED型防犯灯の補助件数

安全に安心して生活できる住環境の状況を示す指標として、「LED型防犯灯の補助件数（件）」を設定します。

項目	実績値	中間値	目標値
LED型防犯灯の補助件数（件）	平成23年度 0件	平成28年度 120件	平成32年度 240件

根拠資料：防災安全課

- 定義：LED型防犯灯の設置件数
- 目標値：年間30件の設置を目標に設定
- 検証方法：目標年度末の状況を関係部署確認により検証

■成果指標③：市内住宅の耐震化率

持ち家における日常生活の安全・安心の確保の状況を示す指標として、「市内住宅の耐震化率（％）」を設定します。

項目	実績値	中間値	目標値
市内住宅の耐震化率（％）	平成 20 年度	平成 27 年度※	平成 32 年度
	59%	90%	95%

根拠資料：八代市建築物耐震改修促進計画（H19）、住生活基本計画（全国計画）

※中間年次は、住生活基本計画（全国計画）で明示されている H27 年度を採用

- 定 義：市内の住宅総数に占める耐震性を有する住宅数の割合
- 目 標 値：住生活基本計画（全国計画）の目標値
- 検証方法：住宅・土地統計調査（H30 年）の値より推計して検証

■成果指標④：リフォーム実施率

安心して住める良質な住宅状況を示す指標として、「リフォーム実施率（％）」を設定します。

項目	実績値	中間値	目標値
リフォーム実施率（％）	平成 20 年度	平成 28 年度	平成 32 年度
	4.0%	5.3%	6.0%

根拠資料：住宅・土地統計調査（H20 年）

- 定 義：住宅・土地統計調査の「リフォーム工事を行った数（年間平均）」の住宅総数（居住世帯あり）に占める割合
- 目 標 値：住生活基本計画（全国計画）の目標値
- 検証方法：住宅・土地統計調査（H30 年）の値より推計して検証

**基本目標2：人にやさしく快適に住める住まい・まちづくり****■成果指標⑤：持ち家住宅のバリアフリー化率**

持ち家における日常生活の快適性・住みやすさの状況を示す指標として、「持ち家住宅のバリアフリー化率（％）」を設定します。

項目	実績値	中間値	目標値
持ち家住宅のバリアフリー化率（％）	平成20年度	平成28年度	平成32年度
	58.5%	63%	65.0%

根拠資料：住宅・土地統計調査（H20年）

（参考）平成15年のバリアフリー化率（持ち家）：56.4%

- 定義：住宅土地統計調査の「高齢者等のための設備がある住宅（持ち家）」の住宅総数に占める割合
- 目標値：平成15年から20年までの伸び率を上回ることを目標に設定
- 検証方法：住宅・土地統計調査（H30年）の値より推計して検証

**■成果指標⑥：子育て世帯における誘導居住水準達成率**

子育て世帯が暮らしやすい住宅・住環境づくりを示す指標として、「子育て世帯における誘導居住水準達成率（％）」を設定します。

項目	実績値	中間値	目標値
子育て世帯における誘導居住水準達成率（％）	平成20年度	平成28年度	平成32年度
	31.7%	44%	50%

根拠資料：住宅・土地統計調査（H20年）

- 定義：夫婦と17歳以下の者のいる世帯（子育て世帯と定義）のうち、誘導居住水準を満たしている世帯の割合
- 目標値：子育て世帯の半数が達成されることを目標に設定
- 検証方法：住宅・土地統計調査（H30年）の値より推計して検証

■成果指標⑦：八代市営住宅長寿命化計画による住宅の改善棟数

市営住宅における日常生活の安全・安心の確保の状況を示す指標として、「八代市営住宅長寿命化計画による住宅の改善棟数（棟）」を設定します。

項目	実績値	中間値	目標値
八代市営住宅長寿命化計画による 住宅の改善棟数（棟）※累計	平成 23 年度	平成 28 年度	平成 32 年度
	9 棟	80 棟	203 棟

根拠資料：建築住宅課

（参考）八代市総合計画の目標値：122 棟（平成 29 年度）

- 定 義：市営住宅のうち、「八代市営住宅長寿命化計画」に位置づけている個別改善事業の実施棟数（累計）
- 目 標 値：八代市営住宅長寿命化計画に位置づけた、個別改善事業の実施棟数
- 検証方法：目標年度末の市営住宅管理データにより検証

**基本目標 3：八代らしい魅力を活かした住まい・まちづくり**

■成果指標⑧：八代産材利用促進事業の実績件数

地域の魅力をいかしたまちづくりの進捗状況を示す指標として、「八代産材利用促進事業の実績件数」を設定します。

項目	実績値	中間値	目標値
八代産材利用促進事業の実績件数（件）	平成 23 年度	平成 28 年度	平成 32 年度
	31 件	40 件	50 件

根拠資料：水産林務課

（参考）八代市総合計画の目標値：45 件（平成 29 年度）

過去実績：平成 21 年度：21 件、平成 22 年度：25 件

- 定 義：八代産材を用いて新築、リフォームを行った住宅件数
- 目 標 値：毎年、前年比 2 件増程度を目標に目標年度の値を設定
- 検証方法：目標年度末の補助制度利用状況を関係部署確認により検証

### ■成果指標⑨：住宅用太陽光発電システムの普及

地域の魅力をいかしたまちづくりの進捗状況を示す指標として、「住宅用太陽光発電システムの普及」を設定します。

項目	実績値	中間値	目標値
住宅用太陽光発電システムの普及(%)	平成 23 年度	平成 29 年度※	平成 32 年度
	5.4%	10%	12%

根拠資料：環境課

※中間年次は、八代市総合計画の目標値：10%（平成 29 年度）を採用

- 定 義：市の補助を用いて住宅用太陽光発電システムを設置した世帯の全世帯に占める割合
- 目 標 値：総合計画の目標値の推移を継続することを目標として設定
- 検証方法：目標年度末の補助制度利用状況を関係部署確認により検証

## 基本目標 4：コンパクトシティの実現および地域活力の維持・向上を図る住まい・まちづくり

### ■成果指標⑩：街なか居住人口

中心市街地の活力向上を示す指標として、「街なか居住人口（人）」を設定します。

項目	実績値	中間値	目標値
街なか居住人口（人）	平成 23 年度	平成 28 年度	平成 32 年度
	7,384 人	7,300 人	7,250 人

根拠資料：商工振興課

- 定 義：中心市街地活性化基本計画の「中心市街地」における居住人口
- 目 標 値：市全体の人口減少率 88.4%（H22→H32 推計）よりも中心市街地の人口減少率が低くなることを目標として設定  
※市全体の人口減少率の9割程度に抑える（ $88.4\% \div 0.9 = 98.2\%$ ）
- 検証方法：目標年度末の住民基本台帳を関係部署確認により検証

■成果指標⑪：空き家バンクの設置

地域定住の取り組みを示す指標として、「空き家バンクの設置」を設定します。

項目	実績値	中間値	目標値
空き家バンクの設置	平成 23 年度	平成 28 年度	平成 32 年度
	未設置	設置済	-

- 定 義：八代市外からのU J I ターン希望者または市内転居等の受け皿の一つとなる「空き家（戸建て）」に関する情報を収集・提供する仕組み
- 目 標 値：計画期間中の中間年（平成 28 年度）には設置・運用開始することを目標（後半は、空き家バンクを活用した施策に重点的に取り組む）
- 検証方法：中間年度末の状況を関係部署確認により検証

**基本目標5：地域主体の多様なパートナーシップによる住まい・まちづくり**

■成果指標⑫：地域協議会の設立数

地域主体のまちづくりを示す指標として、住民自治組織である「地域協議会の設立数（件）」を設定します。

項目	実績値	中間値	目標値
地域協議会の設立数（件）	平成 23 年度	平成 28 年度	平成 32 年度
	0 件	21 件	-

根拠資料：市民活動支援課

※平成 28 年度の中間値（21 件）は、100%達成した場合の件数。

- 定 義：概ね小学校区単位を基本とした地域協議会を設置している割合
- 目 標 値：計画期間中の中間年（平成 28 年度）には全小学校区において設置されることを目標に設定
- 検証方法：目標年度末の状況を関係部署確認により検証